

第 1 回	オリエンテーション（全教員） 本演習のねらい、内容、演習の方法、進め方について説明する。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性について解説する。
第 2 回	自己覚知 1（全教員） 自己覚知とその意義について理解し、自己理解の方法について、実践的に学ぶ。
第 3 回	自己覚知 2（全教員） 自己理解と他者理解の方法について、実践的に学ぶ。
第 4 回	基本的なコミュニケーション技術 1（全教員） 非言語的コミュニケーション（表情、態度、身振り、位置取り等）について、実践的に学ぶ。
第 5 回	基本的なコミュニケーション技術 2（全教員） 言語的コミュニケーション（質問、促し等）について、実践的に学ぶ。
第 6 回	基本的な面接技術 1（全教員） 面接の構造化、場の設定（面接室、生活場面、自宅等）、ツールの活用（電話、e-mail 等）について、実践的に学ぶ。
第 7 回	基本的な面接技術 2（全教員） 基本的な応答技法（言い換え、感情の反射等）について、実践的に学ぶ。
第 8 回	基本的な面接技術 3（全教員） 基本的な応答技法（繰り返し、要約等）について、実践的に学ぶ。
第 9 回	グループダイナミクスの活用（全教員） グループワークの構成（グループリーダー・コリーダー・グループメンバー）、グループワークの展開過程（準備期・開始期・作業期・終結期）について、実践的に学ぶ。
第 10 回	ソーシャルワークの価値と視点（全教員） ソーシャルワーカーに求められる倫理について、実践的に学ぶ。
第 11 回	ソーシャルワークの展開過程 1（全教員） ソーシャルワークの展開過程の全体像とソーシャルワーカーの役割について、実践的に学ぶ。
第 12 回	ソーシャルワークの展開過程 2（全教員） ケースの発見、インテークについて、実践的に学ぶ。
第 13 回	ソーシャルワークの展開過程 3・ソーシャルワークの記録（全教員） アセスメントについて実践的に学ぶ。記録の意義、様式、方法について理解し、マッピングツールを用いた記録の作成について、実践的に学ぶ。
第 14 回	ソーシャルワークの展開過程 4・プレゼンテーション技術（全教員） プランニング、支援の実施、モニタリングについて、実践的に学ぶ。個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーションの方法について、実践的に学ぶ。
第 15 回	ソーシャルワークの展開過程 5（全教員） 支援の終結と事後評価、アフターケアについて実践的に学ぶ。
テキスト	担当教員がプリントを配布し、参考図書等は適宜紹介します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員が演習の中で適宜紹介します。必要に応じて視聴覚教材を用います。
課題に対するフィード	フィードバックの方法の詳細は、担当教員が授業内で提示します。

バックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	<p>「福祉入門」や「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ福祉や援助技術に関する基本的な知識、「ヒューマンサービス基礎演習」で学んだコミュニケーション技術を、本演習で活用できるようにしてください。</p> <p>社会福祉の学びは、理論と実践の両輪が必要です。演習で学んだ内容を、ボランティア活動や「基礎実習」などの実践の場で活用してみてください。そして身につけた知識や技術を、「ソーシャルワーク実習」で活用できるようにしてください。</p>

